

上野原縄文の森 だより

2009.10
Vol.17



UENOHARA JOMON NO MORI



第6回 縄文の森秋まつり

10月

24 (土)

25 (日)

両日とも10:00~15:00

音楽パフォーマンス

縄文体験

名物ドングリうどん

お楽しみ抽選会 等

特集 (P2~3)

再探訪 上野原遺跡

森の住人のコラム

information

イベント案内

再探訪 上野原遺跡



遺跡保存館

～上野原遺跡の「今」を探す～

秋 来ぬと目にはさやかに見えねども
風のおとにぞおどろかれぬる (藤原敏行)

平成9年の6月に、上野原遺跡の現地説明会を行いました。公開日はよく晴れた日で、朝から報道陣や見学者で大勢の人々が集まっていました。9時からの説明会を待ちきれず、予定時間より早く案内したことを記憶しています。

9,500年前の竪穴住居跡が52基発見されたことで、南九州では、縄文時代の早い段階から安定した定住生活が行われていたことが分かりました。このことは、「国内最古最大級」というキャッチフレーズで全国の注目を集めたのみならず、縄文文化の中心は東日本であるとの考古学の定説を覆すこととなります。

また、住居跡が発見された場所より南側へ約1,000m

位の地点では、7,500年前の貴重な出土品が数多く発見され、767点が国の重要文化財に指定されました。

これらの遺跡や出土品は夏休みも公開され、県内外から連日多くの見学者が訪れました。考古学に対する興味・関心を持っている方々がこんなにも多いのかと驚くことでした。土日ともなると一日に6,000人も訪れることがありました。あれから早12年が経過しました。



現地説明会当時の人の波

先日、当時の現地説明会に訪れた人が、「前来た時の面影は全然無いですね。立派な施設ができ、また多くの木が茂りびっくりしました。」と話されていました。今は、52基の住居跡は3基を残して埋め戻され、大地の中で眠っています。発掘されたままの3基は、本物の持つ迫力を今に伝えようと、半地下式ドームの遺跡保存館で公開され、「本物」を体感できる観光スポットとして、また学校教育等での教材として活用されています。

36ヘクタールの広大な敷地は、9,500年の時空を超えて縄文の森としてよみがえりました。今では、春夏秋冬いろいろな顔を見せ、私たちを楽しませてくれます。考古学的に価値のある遺跡や出土品もさることながら、四季折々の森の散策は、しばし喧噪な社会を忘れさせてくれます。

冒頭の和歌のごとく、先日までは南の暖かい風が吹いていましたが、だんだんと霧島連山からの涼しい風が変わってきました。ドングリの実も落ちはじめ、森はすっかり秋の様相になっています。

復元集落から眺める霧島連山や、錦江湾を紅く染めながら沈む夕日など、すばらしい景色が園内いたるところで見られます。9,500年前の縄文人も眺めたであろう260mの台地からの景色や、秋めく森の気配、鳥や虫など森の住人たちとのふれあいを求めて、縄文の森に遊びに来ませんか。

(事業課長 大保 秀樹)



〈特別寄稿〉 「上野原遺跡のメジャーデビュー、縄文の壺の発見」

新東 晃一氏 (元鹿児島県立埋蔵文化財センター次長)



陶芸家の十四代沈壽官氏(写真 手前から二人目)と著者(写真 一番手前)

上野原遺跡のメジャーデビューは平成6年3月11日で、15年も前になる。地元紙(南日本新聞)に「縄文早期のつば完全な形で出土」と当時珍しいカラー写真で朝刊トップ面とさらに社会面に関連記事が大々的に報道され、反響の大きさを物語っている。

「壺型土器は稲作が始まった弥生時代からで縄文時代にはない」がこれまでの定説であり、まさに日本の縄文文化観の転換を迫る大発見が認知された報道とともに上野原遺跡はデビューしたのであった。実は記者会見直後に「壺型土器出土は縄文時代早期で間違いはないか?根拠は?」と、考古

学研究第一人者の国立歴史民俗博物館長の故佐原眞先生から、新聞社コメント要請のための早急な電話質問があった。事の重大さに身震いしながら質問に答えた覚えがある。

その後、上野原遺跡は平成9年には「約9,500年前の国内では最古で最大級の集落」が発見され、こうして日本列島で最も早咲きの縄文文化が鹿児島の地に誕生していたことが判明した。これらは後に発見され続ける南九州の多くの遺跡からも裏付けられており、動かしがたい事実となっている。

平成14年10月、最古の定住集落と早咲きの縄文文化の景観をつくとともに縄文体験のできる史跡整備をねらいとして「鹿児島県上野原縄文の森」は開館し、8年目を迎えようとしている。南の縄文史跡の継承と縄文体験の使命が「上野原縄文の森」であり、魅力の「縄文の森」である。

第25回企画展

新発見！かごしまの遺跡2009

～県立埋蔵文化財センター発掘速報展～



7月18日（土）から始まった第25回企画展。鹿児島県立埋蔵文化財センターが、平成20年度に発掘または報告書作成を行った遺跡の出土品を展示・紹介しています。今回も多く出土品の中から選りすぐりの1級品が所狭しと並んでおり、見応えのある速報展になっています。

天神段遺跡（曾於郡大崎町）出土の墨書土器は、約1,100年前の平安時代のもので、肉眼では見えませんが「正」や「鬼」の文字が書かれ、おまじないに使われたと思われます。

下ノ原B遺跡（伊佐市大口）出土のガラス製小玉は、出土例が少なく貴重な物です。水色のガラス玉は、約1,600年前の古墳時代のものとは思えないほどきれいな水色をしています。この企画展は11月29日（日）まで開催されています。



1. 墨書土器
(天神段遺跡)
2. ガラス製小玉
(下ノ原B遺跡)
3. 虎居城模型
(当園職員の手作りです)



レストラン『フォレスト』が、リニューアルオープン

「レストランフォレスト」では、鹿児島のグルメ「黒豚とんかつ」や地元の旬の素材をふんだんに使用した「縄文ランチ」など人気メニューに加え、リーズナブルなお値段の定食が増えました。

落ち着いた雰囲気店内では、ケーキ・コーヒーなどもあり、喫茶スペースとしても楽しめます。

団体のお客様には、各種お弁当もご用意できますので気軽にご相談ください。(要予約)



営業時間 9:00～17:00 予約応相談
定休日 毎週月曜日(縄文の森の休園日と同じ)
場所 上野原縄文の森展示館内 2階
TEL 0995-46-7711

～店長「古里さん」より一言～

緑いっぱいの森を散策したあとは、是非お立ち寄りくださいませ。スタッフ一同心よりお待ちしております。



平成21年度 上野原縄文の森
新規事業から

考古学講座



第1回「上野原遺跡フィールドワーク」遺跡保存館での解説の様子（講師は県立埋蔵文化財センター八木澤文化財主事）

縄文の森展示館では、「どなたにも分かりやすい展示」をモットーに企画・展示を行っていますが、「もっと深く考古学を学びたい」という声にこたえて企画された本講座。これまでに実施した3回の講座の参加者は、延べ131名！！毎回、最先端の研究をされている講師の方をも唸らせる鋭い質問が飛び、参加者の皆さんの考古学に対する情熱を感じることができました。

今後も、上野原遺跡や考古学についてさらに深く学んでいただける、魅力あふれる講座を企画していきたいと思っております。

第3回「縄文土器の不思議」の様子（講師は県立埋蔵文化財センター前迫文化財主事）



スクールサポートプログラム

8月5日から7日まで、学校の先生方を対象とした講座が実施されました。

展示品についての詳しい解説や、くん製料理などの体験活動はもとより、縄文の森を舞台とした授業や、学校の周辺にある遺跡を活用した授業についての討議なども行われました。どうすればもっと子どもたちが興味を持って取り組める授業ができるか？県内の様々な地域や学校から参加された先生方の、教育に対する熱意を感じた3日間でした。

なお、縄文の森を活用した授業に関するご相談は、随時受け付けております。詳しくは、縄文の森までお問い合わせください。



「自分たちの住む地域の遺跡紹介と活用」の様子。本物の土器と教科書を見ながら、活発な議論が行われました。

火おこし体験の様子。思ったより難しかったようです。



森の住人のコラム



片ノ坂 健治

ここ縄文の森はうさぎ、ハクビシン、狐、猪等野生動物をよく見ることができますが、新たに今年3月縄文の池に放流されたホタルの幼虫が成長し、5月にはホタルの舞う光景を楽しむ事ができました。来年はさらに繁殖し数年後にはホタルの飛び交う名所になるよう、期待して止みません。

四季を通して行われている多くのイベントの中で9月5日に行われた十五夜まつりでは綱引、相撲大会と子供達の歓声と笑い声で大賑いでした。また直後に行われたミニコンサートは、満月を背景に二胡の奏でる神秘的な音色に引き込まれ、心癒された時間を来園されたお客様と共有できた素晴らしい一夜でした。



会長 川崎 徳治

平成15年3月よりボランティア活動の一員として参加し7年が経過しました。当初は、生き甲斐と健康維持を兼ね現職を離れた者同士が経験と知恵を出し合い、ここに訪れる子供や若者に体験活動のお手伝いをしながら自分も楽しむことを目的としてきました。

4年前より、家族会員・学習塾の子供達も入会し、昔の遊び、伝統行事の伝達等活動内容も多岐にわたってきたことは、どんぐり倶楽部の目的が充実してきているからだと思います。

最近では、会員も高齢者が多くなり団塊世代と呼ばれる方々への入会アプローチに苦慮している所ですが、園の職員の方々とも意思疎通を図りながら、ボランティア活動の崇高な感動を踏まえ、自らの人生に今一度楽しみと生き甲斐の場所にしていきたいと思っています。

イベント情報

11月29日(日)まで

第25回企画展

「新発見!かごしまの遺跡2009
～県立埋蔵文化財センター発掘速報展～」

12月5日(土)～3月31日(水)

第26回企画展

「いにしえびとの想い
～考古資料で見る書・描・像の歴史～」

10月

24日(土)・25日(日)

第6回縄文の森秋まつり



11月

3日(火・祝)

第25回企画展講演会

7日(土)

考古学講座「遺跡を見学しよう」



21日(土)

1日縄文人体験

「サバイバル?手作り塩でくん製卵
を食す&クリスマスリース作り」

28日(土)

どんぐりイベント

「秘密基地を作ろう・おにぎりサンド他」



12月

12日(土)

どんぐりイベント

「しめ縄を作ろう・干し柿作り他」

19日(土)

1日縄文人体験「ミニ門松作り」



1月

9日(土)

1日縄文人体験

「天まで揚がる凧作りと凧揚げ大会」

30日(土)

考古学講座「縄文人の道具」

30日(土)

どんぐりイベント「節分を楽しもう」



2月

6日(土)

1日縄文人体験

「縄文料理復刻

～大人向け!だれやめ?錦江湾の
寒ブリくん製と真鯛の石蒸し料理～」

13日(土)

第26回企画展講演会



3月

27日(土)

どんぐりイベント「ふれあい体験」



各イベントについては下記連絡先まで
お気軽にお問い合わせください。

【開園時間】 午前9時～午後5時

(展示館入館は午後4時30分まで)

【休園日】 毎週月曜日(休日に当たるときは、その翌日)

(4/29～5/5及び8/13～15は無休
12/30～1/1(年末年始))

【利用料金】 (団体は20名以上) ※展示館内の展示室・シアターのみ有料

◇個人 小・中学生 150円 高・大学生 210円 大人 300円

◇団体 小・中学生 120円 高・大学生 160円 大人 240円

(県内の学校が教育課程等に基づき学習活動の一環として利用するとき等は減免措置有り)

縄文の森へのご案内



【編集・発行】財団法人鹿児島県文化振興財団 鹿児島県上野原縄文の森

〒899-4318 鹿児島県霧島市国分上野原縄文の森1番1号 電話(0995)48-5701 FAX(0995)48-5704

URL <http://www.jomon-no-mori.jp> E-mail: uenohara@jomon-no-mori.jp